

保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 2026年度カリキュラムツリー

ディプロマ・ポリシー
(卒業認定・学位授与の方針)

Ⅰ. 知識・技能	
1	人間力を培うための幅広い教養を身につける。
2	人体に関する専門的な科学・医学知識を身につける。
3	科学・医学の知識を用いて理学療法に必要な知識と技能を身につける。
4	語学力と情報リテラシー能力を高め、適切に表現できる能力を身につける。

Ⅱ. 思考力・判断力・表現力	
1	自分の考えを論理的に、対象者が理解できるよう説明することができる。
2	対象者の病態を科学・医学知識をもとに分析し、評価することができる。
3	一人ひとりの病態・発達段階に合わせた理学療法ができる。
4	一人ひとりの生活・社会背景に合わせた支援ができる。
5	理学療法を通して医療全般に関する諸問題を発見・分析し、解決を図ることができる。

Ⅲ. 主体性・多様性・協働性	
1	多様な価値観を受容し、他者と関連づけてとらえることができる。
2	他の専門職と協働しながら諸問題の解決を図ることができる。
3	医療職として福祉社会に貢献しようとする強い意志と意欲を持ち続けることができる。

	1年次 一般教養を学ぶとともに、医療専門職に必要な基礎科学の知識を身につけます。	2年次 教養と基礎科学の知識をさらに磨き、リハビリテーションの専門知識・技能を学びます。	3年次 専門領域を選択し、学修するとともに、実習によるリハビリテーション技能の向上を図ります。	4年次 臨床実習による知識と技能のさらなる向上をめざすとともに、卒業研究に取り組みます。	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ			基礎分野
総合教養	総合教養				
言語	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ オーラルコミュニケーション フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語	医療英語 総合英語Ⅲ			
情報と伝達	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ データサイエンス入門				
健康とスポーツ	保健体育 体育実技				
自然と科学	基礎数学 生物学入門 基礎科学概論 生命科学概論 統計学				
人間と社会	哲学 人間学 倫理学 心理学 法学 日本国憲法 人権教育 経済学 政治学 社会学 国際関係論 日本史と世界 社会福祉概論 多文化と共生				
キャリア教育			医療キャリアデザイン		
人体の構造と機能及び心身の発達	基礎解剖学演習 解剖学演習 解剖学特別演習 基礎生理学演習 人間発達学	生理学演習 運動学 運動・応用生理学			専門基礎分野
疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進		病理学 整形外科学 内科学・生活習慣病 神経内科学 精神医学 医療安全・感染症学 健康増進・予防理学療法学演習 臨床精神医学 高次脳機能障害学演習 小児科学 救急医療 栄養学	薬理学 作業療法学 リハビリテーション医学 日常生活動作		
保健医療福祉とリハビリテーションの障害者福祉論老人福祉論の理念	リハビリテーション概論 障害者福祉論 老人福祉論	公衆衛生学 生活支援技術演習	臨床心理学 生命倫理学 地域・医療連携論	医療経済学	
基礎理学療法学	理学療法概論	臨床運動学 理学療法研究法		理学療法特論	
理学療法管理学	理学療法管理学Ⅰ			理学療法管理学Ⅱ	専門分野
理学療法評価学		理学療法評価学Ⅰ(概論・バイタル・形態測定、ROM、痛み) 理学療法評価学Ⅱ(筋機能)	理学療法評価学Ⅲ(神経学的評価) 理学療法評価学Ⅳ(画像評価・動作分析の基礎)		
理学療法治療学		運動療法学 物理療法学Ⅰ(基礎) 運動器障害理学療法学Ⅰ(基礎) 内部障害理学療法学Ⅰ(呼吸器疾患)	物理療法学Ⅱ(臨床的応用) 義肢装具学 運動器障害理学療法学Ⅱ(臨床的応用) 神経障害理学療法学Ⅰ(基礎) 発達障害理学療法学 内部障害理学療法学Ⅱ(心疾患) 高齢者理学療法学 理学療法臨床学演習Ⅰ(ペーパーパシエント) 理学療法臨床学演習Ⅱ(模擬患者) 神経障害理学療法学Ⅱ(臨床的応用) 代謝疾患・がん理学療法学 スポーツ傷害理学療法学 領域別理学療法演習 理学療法総合演習	理学療法治療技術特論	
地域理学療法学		生活環境学演習	地域理学療法学 回復期リハビリテーション学		
臨床実習		臨床実習Ⅰ(臨床見学実習)	臨床実習Ⅱ(臨床評価実習)	臨床実習Ⅲ(臨床治療実習) 臨床実習Ⅳ(保健福祉実習)	
卒業研究				卒業研究	

※赤字は卒業必修科目